



生協連会報



2025

8



NO.544

<理事会報告>

第2回理事会開催報告	2
------------------	---

<活動報告>

第2回食・消費者委員会開催報告	4
-----------------------	---

令和7年度消費生活協同組合役員研修会開催報告	6
------------------------------	---

千葉県生協連創立75周年記念事業「児童養護施設等退所者に対する奨学基金」 感謝状贈呈式	8
--	---

千葉県環境生活部と生協連役員との懇談会開催報告	9
-------------------------------	---

子どもたちに平和な未来を2025

「その時、私は子どもだった～被爆・戦後80年の想い～」開催報告	10
---------------------------------------	----

第1回地域・まちづくり委員会開催報告	12
--------------------------	----



千葉県生活協同組合連合会

わたしとみんなの安全を守る



見守り！

今日から
できる防犯活動

プラス 防犯

みんなで



今日からできる、わたしの「プラス防犯」始めてみませんか？

「プラス防犯」とは日々の生活に防犯の視点をプラスすることで犯罪が起こりにくい環境をつくり、
あなたのご家族、地域の皆さんの安全を守る活動です。

プラス防犯 . その1

あいさつをしましょう！

まずは、目を合わせてニコリ、
軽く手を上げるだけでも OK!



プラス防犯 . その2

周囲の様子に目を配る！

人の目が行き届かないような危険な場所は、
意識的に目を配りましょう！



プラス防犯 . その3

通学中の子どもたちを
家から見守ります！

お庭や玄関、ベランダからでも OK!



プラス防犯 . その4

外出時も見守ります！

買い物や散歩の時間を意識して登下校に
合わせて、子どもたちを見守りましょう！



もし、不審な人物や車両などを見かけたら、**迷わず110番**しましょう！

千葉県生協連の主な活動予定 2025.8～2025.10

8月			9月			10月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	金	中央地連MCA通信訓練	1	月		1	水	中央地連MCA通信訓練
2	土		2	火	県連MCA無線通信訓練	2	木	
3	日		3	水		3	金	
4	月		4	木	サポ・ちば第2回理事会	4	土	
5	火		5	金		5	日	
6	水		6	土		6	月	
7	木		7	日		7	火	
8	金		8	月		8	水	
9	土		9	火		9	木	フードドライブ実行委員会
10	日		10	水		10	金	
11	月		11	木	第3回理事会・第3回地域生協 部会	11	土	
12	火		12	金		12	日	
13	水		13	土		13	月	
14	木		14	日		14	火	
15	金		15	月		15	水	第1回職域生協部会/女性交流会
16	土		16	火		16	木	
17	日		17	水	第3回大規模災害対策協議会	17	金	
18	月		18	木		18	土	
19	火		19	金		19	日	九都県市合同防災訓練/エコ メッセ
20	水	協同組合提携推進協議会幹事	20	土		20	月	
21	木	公明党政策要望懇談会	21	日		21	火	
22	金		22	月		22	水	政策検討会
23	土		23	火		23	木	
24	日		24	水		24	金	第2回監事会
25	月		25	木		25	土	
26	火		26	金	第2回地域・まちづくり委員会	26	日	
27	水		27	土		27	月	
28	木	子どもたちに平和な未来を 2025第6回実行委員会	28	日		28	火	
29	金	食・消費者委員会視察見学	29	月		29	水	
30	土		30	火	第1回広報担当者・消費者行 政連絡会	30	木	第3回食・消費者委員会
31	日					31	金	

千葉県生活協同組合連合会 2025 年度 第 2 回理事会報告

【開催日時】 2025 年 7 月 17 日（木） 13：00～14：10

【開催場所】 千葉県教育会館 本館 5 階会議室

【出席者】 理事 13 名中 12 名出席 監事 3 名中 2 名出席

定刻になり、打越会長理事より前日におこなわれた児童養護施設などの退所者を対象とする奨学金への寄附に対する千葉県知事からの感謝状贈呈式の報告と、同日におこなわれた千葉県環境生活部と生協連役員との懇談会について挨拶がありました。

続いて本日の出欠状況について報告がされ、本理事会の定数を満たし成立していることを確認し、理事会規則第 7 条により会長理事を議長とすることを確認した上で議事に入りました。

<協議事項>

1. 2025 年度上期及び下期取り組み課題について（案）

事業方針案の実施に向けて、2025 年度上期及び下期の主要な取り組み課題について提案があり、協議をおこないました。提案の内容について全員異議なく確認されました。

<報告事項>

1. 個別報告

（1）～（12）に関する報告があり、確認されました。

（1）千葉県生活協同組合連合会第 76 回通常総会開催報告について

（2）2025 年度 千葉県生協連会員生協の会費について

（3）2025 年度 委員会・部会・実行委員会の参加者について

（4）2025 年度千葉県生協連 政策検討会の開催について

（5）「子どもたちに平和な未来を 2025」の開催について

（6）児童虐待防止の啓発を目的とする「オレンジリボンたすきリレー」
千葉での開催に向けた協力について

（7）日本生協連「石川縣市町村社協&全国生協メッセージ付きプレゼント企画」への協力について

（8）子どもの事故予防学習会の開催について

（9）被爆者が描いた原爆の絵碑 建設募金への協力について

（10）2025 年 会員生協の総代会開催報告

（11）内閣総理大臣認定 適格消費者団体 特定非営利活動法人消費者市民
サポートちばの活動状況について(2025 年 6 月度時点)

2. 活動報告

前回理事会以降から第 2 回理事会までの活動と課題の進捗状況について報告がありました。

3. 日本生協連関係報告

- (1) 令和 6 年（2024 年）能登半島地震・奥能登豪雨災害支援募金の御礼と 2025 年度応援募金のお願い
- (2) 能登支援活動動画のご案内
- (3) 福島・原発廃炉行程視察ツアーの案内
- (4) ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ子ども平和会議開催および学習動画の案内
- (5) 「わたしたちの平和宣言」のよびかけについて
- (6) 地域共創ジャンボリーの案内
- (7) 2025 年度版組合員活動 担当職員向け学習資料の紹介
- (8) SDG s 関連
- (9) 価格転嫁・取引適正化に関する今後の取り組み
- (10) 中央地連事務局体制および年間スケジュール
以上について報告がありました。

4. 会員生協関係報告

特にありませんでした。

<文書報告>

- 1. 2024 年度 千葉県生協連活動ロードマップ

2025年度第2回食・消費者委員会

12 つくもだほ
つかうはほ



日 時：2025 年 7 月 7 日（月）14：00～16：00

会 場：千葉県生協連会議室（対面での開催）と
ZOOM でのハイブリッド開催

出席者：山本(なのはな)、神野・黒崎(パルシステム千葉)、
(敬称略) 松山(コープみらい)、深町・中井(生活クラブ)、
事務局：尼崎・依光（県生協連）

オブザーバー：佐藤（日本生協連）、学習会参加：パル 8 人、みらい 2 人(オンライン)



内 容： 2025 年度第 2 回食・消費者委員会では、季節柄気になる、家庭や調理実習での
食品衛生管理や調理時の注意点について、科学的な視点から学習しました。

1. キッチンでの食の安全～消費者による食品のリスクマネジメント～

講師：千葉大学教育学部 家庭科教育分野 教授 米田千恵先生

米田先生は、主に家庭科や養護教諭になる学生に教鞭をとられ、
内閣府食品安全委員会企画等専門調査会 専門委員でもいらっしゃい
ます。コロナ以後の調理実習の様子などもお話しいただきました。



○食品の腐敗と食中毒防止

米田先生は、食品の腐敗と食中毒の関連を説明され「食品の腐敗はタンパク質の
分解に伴う変化であり、食中毒は病原性細菌の増殖によるもの」と説明されました。
「食中毒の 90%が細菌性やウイルス性の食中毒であり、食中毒の原因細菌やウイル
スが増殖しても食品の外観・匂いが変化しないこともあり、誤って食べてしまう」、
「アニキサスなどの寄生虫性の食中毒も増加している」とのことでした。

○食中毒・腐敗防止の三原則…「つけない・増やさない・殺す」

病原微生物の生息場所（汚染源）を知っておくと「つけない」（汚染を防止する）
ための注意点がわかること、手洗いの重要性についてお話しくださいました。

○食品保存の原理

続いて、食品保存の方法として、食品内で細菌を不活性化させる 1. 水分の除去、
2. 低温、3. 殺菌・滅菌などについて説明されました。家庭での調理器具の殺菌方法
として、「まな板は 70℃のお湯をかける、ふきんは 5 分間の煮沸消毒が有効」とお
話しされました。また「除菌用アルコール消毒は濃度 60%の消毒液でも 26℃程度の
温度で引火するので、調理実習中はアルコール液を実習台に置かないように注意す
ることも大切」と教えていただきました。

○調理実習を安心・安全におこなうために

最後に中学・高校での調理実習での安全管理について、お話しいただきました。

- ・調理実習計画の検討・・・何をするのか
- ・衛生面(感染症対策)の検討・・・何がリスクになるのか (HACCP と同様)
- ・保護者への説明(食物アレルギー、体調管理、持ち物)・・・手紙や書面で
- ・児童・生徒へ調理実習を行う時の約束・・・身支度、手順の確認、私語、包丁、
火元、後片付け(点検、チェックリスト)

「授業では、黒板に調理の手順、注意事項などを書いて、短時間で今日おこなうことがわかるようにしています。各自が安全・安心のための見通しを持って実習することが大切です」と結ばれました。



2. 各生協からの報告

○コープみらい

- ・5月24日に宅配センター職員、産地職員、組合員理事、ブロック委員が参加して九重栗かぼちゃの産地学習会が行われました。圃場では栽培のこだわりや苦勞などをお聞きしました。昼食では産地の方が用意してくださった美味しいかぼちゃづくしの料理で交流し、分散会でどのように組合員さんにおすすめするかロールプレイングを行いました。その後もそれぞれの宅配センターや会議で学習・交流・試食会が行われ、6月4回のおすすめ週に向けて九重栗かぼちゃの美味しさをみんなで実感しました。

○パルシステム千葉

- ・6月2日(月)～6月20日(金)の期間で『2025年度第1回フードドライブ』を行いました。寄贈いただいた食品は、7月に全センターで仕分け作業を行い、各地域のフードバンクを通じて、食料を必要としている人たちへお届けします。また、2025年度は、夏休みのご家庭をイメージして「常温品セット」「おやつセット」のセット内容を選定し、合計2,449点のご注文をいただきました。

○なのはな生協

- ・本部主催として5月22日で「なのはなdeランチ」を開催いたしました。組合員への商品普及とお友達を連れてきていただくことにより新規組合員の拡大を目的としています。11名の参加者のうち、非組合員が2名で1名の方が加入につながりました。また、5月30日には、アイスの久保田食品の生産者交流会を行い、32名の方が参加してくださいました。商品のこだわりや製造工程をおしえていただき、ファンが多いこともあり、たくさんの質問もいただきました
- ・エリア活動では、西部エリア(浦安、市川)で5月9日に「母の日アイシングクッキー体験会」を開催いたしました。天然由来のフードパウダーを使って、エプロンと花束を作りました。参加者からは、難しかったけど、楽しかったと感想を頂いています。

○生活クラブ生協

- ・4月末から5月にかけて、農業体験(学校シリーズ)を開催しました。
- ・4月26日(土)トマトの学校(定植)八街トマトケチャップの生産者コーミ(株)、虹と風ファームも参加し、トマトやソーラーシェアリングのしくみについて学ぶ活動をしました。トマトケチャップの原料や、デポで加工用トマトとして取り組みをします。
- ・5月3日(土)田んぼの学校(田植え)旭市。ちばあさひ米の田んぼで開催。JAちばみどり、農家の方からあさひ米について学習し、90名の参加者と田植え体験を行いました。
- ・5月11日(日)畑の学校(さつまいも、落花生の定植)八街。
- ・5月16日17日に県内9デポで、春のデポまつりを開催しました。提携生産者が来所し、組合員と生産者と一緒に消費材を伝えました。
- ・6月21日(土)牛肉学習会 デポみつわ台。栃木県の生産者から、乳肉一貫生産、耕畜連携生産の牛肉と牛乳を学びました。食べることで持続可能な生産と消費につながることをあらためて実感しました。

以上



令和7年度消費生活協同組合役員研修会開催報告

日 時 2025年7月10日(木) 10:00～14:00
会 場 ホテルポートプラザちば 2階ロイヤル②
参 加 9会員生協 59名(事務局・講師含む)



7月10日(木)に、令和7年度消費生活協同組合役員研修会を開催しました。この研修会は、毎年7月に千葉県環境生活部 暮らし安全推進課との共催で開催するものです。新たな年度を迎えて、生協の事業を進める際の注意点などについて千葉県よりご助言をいただく機会としています。同時に自治体の施策や諸課題などについて学び、生協の事業と活動への知見を広げていただくことを目的としています。

令和7年度は、県から「生協運営上の留意点」についての説明後、「2025 国際協同組合年」を踏まえて、これからの生協のSDGsについて参加者と一緒に考えました。(2025 国際協同組合年認定事業)

1. 主催者あいさつ

千葉県環境生活部暮らし安全推進課 消費者安全推進室 齊藤 英明 室長

平成27年に国連サミットでSDGsが採択されて以来、皆様の生協でも持続可能な社会の実現を目指して様々な取り組みを実施されているものと存じます。特に今年は国連により「国際協同組合年」と定められております。この機会を捉え、改めて生協の意義や価値を発信していただくことを期待しております。



千葉県生活協同組合連合会 打越和佳子会長理事

地域に関わる様々な人たちに、SDGs達成をめざす協同組合、生協の活動を広く知っていただき、連携して一緒に取り組んでいただけるようにするためにはどうしたらよいのか、本日の研修で気付いたことや考えたことを、少しでも日々の活動や暮らしに活かしていただければ幸いです。



2. 講演

(1) 講演1. 「生協運営上の留意点」

千葉県環境生活部暮らし安全推進課 消費安全推進室 牲川智彦副主査

総会、総代会は生協の最高決定機関です。適切に運営をされている、組合員さんの意見がきちんと反映されてるというのがポイントです。また定款変更などは、早めに一度、県にご相談いただきますようお願いいたします。



(2) 講演2. 「SDGsの現状を振り返り、ポストSDGsに向けて未来を構想する」

東京都市大学 大学院環境情報学研究科 研究教授／学長補佐 佐藤真久先生

佐藤先生には、SDGsの17の目標を深く考えることと、ポストSDGsに向けどのように考えていくべきか、という二つの軸でお話いただきました。その後のグループワークでは、地域の中で生協がどのように他団体と連携し何ができるかを考えました。



1. SDGsの背景・世界観・特長

SDGsは、これまでの「同情目線」(かわいそうだから助ける)から、「共感目線」(共に問題に取り組む)への意識変革を求めています。現代社会は「VUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)」

の時代です。「安定」と「コミュニケーション」が重要であり、多様な正しさが衝突する中で社会的排除を生まず、互いに「変わる」柔軟性が求められます。

2. 日本の SDGs 課題と協同組合の役割

2025 年の SDGs レポートでは世界の SDGs 達成度が悪化しており、日本も食生活、ジェンダー平等、資源利用、気候変動対策などで課題が指摘されています。特に、日本の「縦割り」や「自己責任」といった考え方が、複雑な問題解決を阻害しています。また、日本の SDGs 国家レビュー報告書では、行政側の客観データと市民側の主観データ（幸福度）に大きな乖離があることが明らかになりました。協同組合は、このギャップを埋めるためのコミュニケーションと、真の満足度を追求することが重要です。協同組合は当事者性（NPO 的側面）、学び合い（学校的側面）、地域性、公平性・社会的包摂（自治体的側面）といった多様な側面を持つ、非常に多面的な組織です。国連でもその可能性が注目され「2025 国際協同組合年」につながりました。

3. 地域循環経済と新しい協働の形

経済活動では、稼いだお金を地域内で循環させる仕組みが必要です。そのためには、協同組合が持つ非財務資本（人的資本、社会関係資本、自然資本など）を可視化し、地域全体の価値創造を目指すべきです。また「人間の安全保障」の視点から、特定の課題を解決するだけでなく「問題が起きづらい構造を作る」予防的なアプローチが重要です。協同組合は、個人、人間関係、コミュニティ、社会政策をつなぐシステムを構築することで、この予防原則を実現できます。単なる利益追求から、社会や環境、地域に深く関わり、他者と協働して価値を創造する「共有価値創造（CSV）」へとシフトすべきであり、協同組合はこの新しい経済活動のモデルとなりえます。

4. 未来への挑戦：多様な協働と参加

これからの協働は特定のプロジェクトだけでなく、千葉県との政策協働のような中長期的な連携が重要になります。さらに、「同質の協働」（同じ考えの人々）だけでなく、企業、自治体、学校など、「多様な主体を巻き込む『異質の協働』」へと広げていく必要があります。そして、最も重要なのは「参加の促進」です。地域との接点がない人々に、地域の魅力を発見してもらい、自ら協働に参加してもらうためのプロセスを築くことが不可欠です。従来の縦割りや個別解決の弊害を乗り越え、多様なものを有機的につなぎ、問題が起きにくい仕組みを創り出すことで、持続可能な社会の実現に貢献できると思います。

○事例報告 「オーガニックなまちづくり」

木更津市企画部オーガニックシティ推進課 主任主事 佐久間千春氏

木更津市は、地域を愛し、自らの手で未来を選択し、豊かな地域資源を循環させて新たな価値を生み出す「自立・循環・共生」の視点に基づくまちづくりを進めています。このような取り組みが評価され、木更津市は平成 23 年 5 月に内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されました。（オーガニックなまちづくり条例、きさらび地域循環共生圏に関する取り組みなどの事例を、ご報告いただきました。）



（以上、文責：事務局）

《参加者の感想》

- ・顔の見えるつながりは、多様な価値観の今だからこそ、もっと進めて行けたらと思いました。
- ・木更津市の事例は、市が一丸となって目標に向け具体的に実現させていることに驚きを感じました。
- ・これまでとこれからを見据えつつ、どこと一緒にやっていこうか？ワクワクのグループ交流ができました。
- ・「木更津オーガニックなまちづくりアクション」のスパイラルな取り組みがすばらしい。まさに協働な取り組みでつながっていると感じました。
- ・「向き合う協働から共有ビジョンに向けて歩き続ける協働」、これからの生協の在り方はここに象徴されますね。

千葉県生協連創立 75 周年記念事業

「児童養護施設等退所者に対する奨学基金」への寄付に係る感謝状贈呈式がおこなわれました。

千葉県生協連創立 75 周年記念事業として、千葉県が設立した「児童養護施設等退所者に対する奨学基金」に寄付金 100 万円を贈呈しました。この制度は児童養護施設を退所する児童の中で、進学後の学費負担など経済的な事情で進学をあきらめざるを得ない子どもたちの学ぶ機会を確保するための給付型奨学金制度です。7 月 16 日千葉県庁本庁舎 5 階で感謝状贈呈式があり、千葉県知事から感謝状をいただきました。



熊谷県知事から感謝状を授与



㊦熊谷知事 ㊦打越会長



受賞された皆さま

「千葉県環境生活部と生協連役員との懇談会」開催報告



日 時:2025 年 7 月 17 日 (木) 10:00～12:00
会 場:千葉県教育会館本館 5 階会議室
出 席:内田課長、齊藤室長、牲川副主査(千葉県環境生活部くらし安全推進課)
打越会長理事、新村副会長理事、尼崎専務理事(千葉県生協連)、高橋理事(パルシステム千葉)、高山理事(コープみらい)、山崎理事(生活クラブ)、鶴岡理事(千葉県庁生協)、柴崎理事(千葉大学生協)、杉浦理事(千葉労済)、大見理事(ちば住宅コープ)、玉木理事(千葉商大生協)、有吉監事(東邦大消費生協)、佐久間、依光、竹内(千葉県生協連事務局)
計 18 名

内 容

尼崎専務理事の司会により懇談会が始まり、環境生活部から参加された内田課長、齊藤室長、牲川副主査のご紹介がありました。はじめに打越会長理事、内田課長のご挨拶があり、続いて環境生活部くらし安全推進課より、千葉県ですすめている消費者安全の取り組み、防犯対策の取り組み、交通安全対策の取り組みについて報告があり、懇談をおこないました。

千葉県生協連からは「2024 年度活動のまとめ」と「2025 年度方針、各生協からは自生協の紹介と「2024 年活動報告と 2025 年度方針」について、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、千葉県庁生協、千葉大学生協、千葉県勤労者共済生協、ちば住宅コープ、千葉商科大学生協、東邦大学消費生協の順に報告があり、千葉県学校生協の資料の紹介がありました。

懇談の中で「生協の経営状況について」「金融経済教育の実施状況について」「生協の健康づくりの取り組みについて」「今後もぜひ協力関係を継続していきたい」等の質問や意見がありました。

最後に新村副会長から「今後の生協と行政との連携を深めていくうえで貴重な時間となったので、今後も継続していきたい。」と閉会の挨拶がありました。

以上



全体の様子



左より内田課長、齊藤室長、牲川副主査

子どもたちに平和な未来を 2025 開催報告

「その時、私は子どもだった～被爆・戦後 80 年の想い～」

日 時：2025 年 7 月 21 日（祝・月）13：30～15：30

会 場：コーププラザ千葉

参加対象：生協組合員とそのご家族（小学高学年以上対象ですが、
ご兄弟や大人の方のみの参加も可能）



「子どもたちに平和な未来を」は千葉県生協連と千葉県内の4つの地域生協（パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、なのはな生協）による実行委員会形式で運営され、子どもたちに「平和の大切さ」と「核兵器の廃絶」を訴える取り組みを毎年おこなっています。

被爆・戦後 80 年を迎えた 2025 年度は、被爆の実相を伝えることをテーマに「その時、私は子どもだった～被爆・戦後 80 年の想い～」と題し、各生協が参加を呼びかけました。

幅広い年代やご家族での申し込みがあり、当日参加の方を含めて 43 件 75 名（子ども 26 名大人 49 名）が参加されました。

主催者挨拶では高橋由美子実行委員長（パルシステム千葉理事長）より子どもたちに向けて平和を伝える活動をおこなう本企画の主旨や、被爆・戦後 80 年という節目の年に被爆について学ぶ機会の意味についてなど話がありました。



はじめに、不二女子高等学校演劇部と演劇部 OB8 名による朗読劇「サダコのメモ」が上演されました。「サダコのメモ」は、子どもたちの参加が多い本日の企画のために新たに脚本を書いていただき、初めて上演されました。2 歳の時に被爆した佐々木禎子さんは、被爆から 10 年後に突然白血病と診断され、病室で折り鶴を折り続けました。折り鶴が平和への祈りを込めて折られるよ



うになったきっかけとなった方です。朗読劇では登場人物になり切った演技に会場は静まり返り、涙する方も見受けられました。



その時2歳だった中村紘さんは、「平和と平等といのち」というお話をされました。原爆の恐ろしさを生活の身近なものや、動物の大きさに例えたり、物事を多方面から理解する大切さを月の満ち欠けで例えたりと、子どもたちがイメージしやすいように説明されました。

休憩のあとは、グループで朗読劇や、中村さんのお話の感想や考えたことなどを話し合いました。



小谷孝子さんは、原爆で亡くなった幼い弟の代わりだという相棒のあっちゃんと一緒に腹話術による自身の被爆体験を話されました。ご自身が当時見たこと、被爆者ということでご自身が体験されたことなどを優しい語り口で、あっちゃんに話しかけながら、話されました。「みなさん、世界中にお友達をたくさん作ってください。お友だちの国を攻撃しようとはおもわないですね。それが平和につながると思います。」と参加者にメッセージをくださいました。



最後に中村さん、小谷さんから平和のバトンが不二女子高校演劇部へ渡されました。



●参加しようと思ったきっかけ

・世の中に戦争が再び忍び寄ってきている気がして子どもたちに考えてほしかった・子どもの聞いてほしかった・父母が戦争体験者だったが既に他界。もっと聞いておけばよかったと後悔していたの。・被爆戦後80年平和について考える1日にしたかった。

●感想

・戦争＝怖いで終わっていたが、次の一步どうするのか、何ができるのかを考えるきっかけになった（大人1人子ども1人で参加）・朗読劇、後援を聞いて涙が止まらなかった。胸が締め付けられ、世界平和をより一層願っていきたい（大人2人子ども2人で参加）
・世界から核をなくすためにも私たちが次世代に伝えなければ（大人1人で参加）・子どもと一緒に家族で話し合いたいです（大人1人子ども1人で参加）

第1回地域・まちづくり委員会開催報告



日 時：2025年7月25日（金）10：00～12：00

開催場所：千葉県生協連会議室 Zoomを使ったオンライン参加

出席：北・大森（パルシステム千葉）、重田・鈴木（コープみらい）、
（敬称略）石田・柴山（生活クラブ）、岸野（なのはな生協）尼崎・竹内（生協連）
千葉県社会福祉協議会 会田部長・菊地班長
千葉市社会福祉協議会 内山課長・鈴木主査

内 容

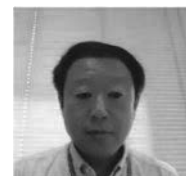
新たな委員会メンバーを迎えての2025年度第1回委員会のため、尼崎専務より、多様なステークホルダーとともに生協が取り組む「誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」を実現するために会員生協相互の情報交換や、学びを目的に活動するという地域・まちづくり委員会の主旨を説明し、出席者で共有しました。

第一部 学習会

これまで委員会で培ってきた千葉市社協と関係から、生協の中での事業や活動の連携に繋がるケースが出てきました。昨年度の委員会でも社協との関係性は継続してほしいという声があがったことから、千葉県社協の会田部長より下記のテーマでご説明いただきました。

講演：「千葉県社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会の役割について」

講師：千葉県社会福祉協議会 地域福祉推進部長 会田 肇 さん



1. 地域福祉の動向について 人口構造や世帯構造の変化や共同体機能（自治会、職場）の脆弱化、人口減による担い手不足などが社会問題となっています。そのため課題を抱える方々への支援に対応できないケースがでてきています。社協の目指す地域共生社会の実現は、誰もが役割と生きがいをもつ社会を醸成します。
2. 社会福祉協議会とは すべての市町村、都道府県・指定都市、全国の段階に組織されている民間非営利組織です。地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした活動をおこなっています。県社協と市町村社協はそれぞれが独立した社会福祉法人です。
3. 千葉県内市町村社協の概況 県内市区町村社協は54組織あり、生活困窮者支援、地域住民主体の活動支援など地域福祉に関する様々な活動をしています。社協の活動には、社協事業の主旨に賛同した会員による財政面での支援が不可欠です。
4. 千葉県内の地区社協の概況 地区社協とは、小中学校区を単位とした市町村以下の区域内で住民主体の福祉活動を展開する組織です。名前を呼び合える近隣関係を基盤にボランティアによる日常的で即応性のある福祉サービスの提供を図ります。千葉県内には575地区社協があり（R7年4月現在）、配食や見守り、子育てや高齢者向けのサロン活動、災害に関する活動をおこなっています。市町村社協は

その活動を支援しています。

5. **災害時の全国の社協が連携・支援する仕組み** 被災地社協からの要請により災害の規模により段階的に支援を拡大します。千葉県内では平成 22 年に千葉県社協と県内 54 市町村社協と災害時の相互支援に関する協定が結ばれ、それに基づき災害支援や職員の応援派遣が進められます。
6. **まとめ** 社協活動は住民主体が大前提です。そして住民の方々が楽しく活動できるための支援をおこないます。また社協だけでなく様々なステークホルダーと連携しながら、地域の課題を解決していくことが重要です。
(文責 事務局)



第二部 委員会

1. 今年度の活動について

第 2 回から第 5 回までの日程および、取り組み内容について事務局より提案があり、委員会で確認しました。

2. 各生協からの報告

○パルシステム千葉 組合員活動では各センターごとに活動スタッフというパートナー職員が組合員のために役立つ企画運営をおこなっています。全センター合わせて 5, 6 月には 8 回ほど開催されました。本部企画では 10 月 26 日に商品展示会を柏で開催します。6 月 18 日に開催した第 2 回「パルカフェ in おおたかの森」は、地域の方や組合員の方にパルシステムを知ってもらうだけでなく、地域の課題を参加者同士が話せる場としての役割を目指し、いずれは地域の居場所として活用できたらと考えています。生活困窮者支援としてフードドライブキャンペーン「買って応援！まごころセット」への注文が増えています。

○コープみらい 3 月 1 日にコープみらいピースアクションを開催し、約 500 人が来場しました。日本被団協の田中熙巳代表委員からのメッセージや、俳優の紺野美沙子さんの朗読劇のほか、組合員、駒込高校、聖学院高校など多くの団体が平和に関する展示をおこないました。フードバンクへの支援では、県内 13 か所に食品寄贈ボックスを設置し、通年で食品の寄贈を受け付けています。また流通過程での余剰品や返品となった食品も提供しています。このほか 7 月より千葉エリア内の 2 つの配送センター内で、「買って応援！ほっこりセット」を開始しました。

○生活クラブ 2025 年度子ども食堂基金は、組合員からの寄付募集、助成団体の募集、審査をおこない、47 団体へ合計 1,222,000 円の助成をしました。応募団体多数のため、助成金額の上限を 26,000 円に減額しました。フードバンクへの支援として今年度より「おふくわけ米」の取り組みを開始しました。1 口あたり約 0.6 キロのお米の注文となり、8 口が集まると 5 キロのお米を地域のフードバンクに届く仕組みです。6 月の実績では 179 袋を届けることができました。

3. 次回の委員会

・第 2 回委員会 9 月 26 日 (金) 10:00~12:00

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立	1949 年
会長理事	打越 和佳子
会 員	12 生協
準 会 員	2 生協
所 在 地	千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館 5 階

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



チーバくん

ちばSDGs



千葉県生協連 HP はこちら



被爆・戦後80年
平和とよりよい生活のために



千葉県生活協同組合連合会

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

千葉県生活協同組合連合会は 2025 国際協同組合年に賛同しています

千葉県生活協同組合連合会は持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けて取り組んでいます。ちばSDGs パートナー 124 号